

2020年東京大会を契機とした文化プログラムの取組



令和2年1月30日

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

○ 2020年大会を契機に、日本文化の魅力発信とレガシー創出へ



『 beyond2020プログラム 』 (2017年1月～)

- ・ 日本文化の魅力を発信する事業・活動であって、多様性（バリアフリー等）又は国際性（多言語化等）に配慮した取組を認証
- ・ スポンサー企業を含め幅広い団体が申請可能

【ロゴマークのデザイン】

- ・ 「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。
- ・ beyondの「b」や日本を象徴する「わ」とも読み取れる。
- ・ 日本の文化を共に継承し広げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たなる発展へのステップとしてシンボライズ。

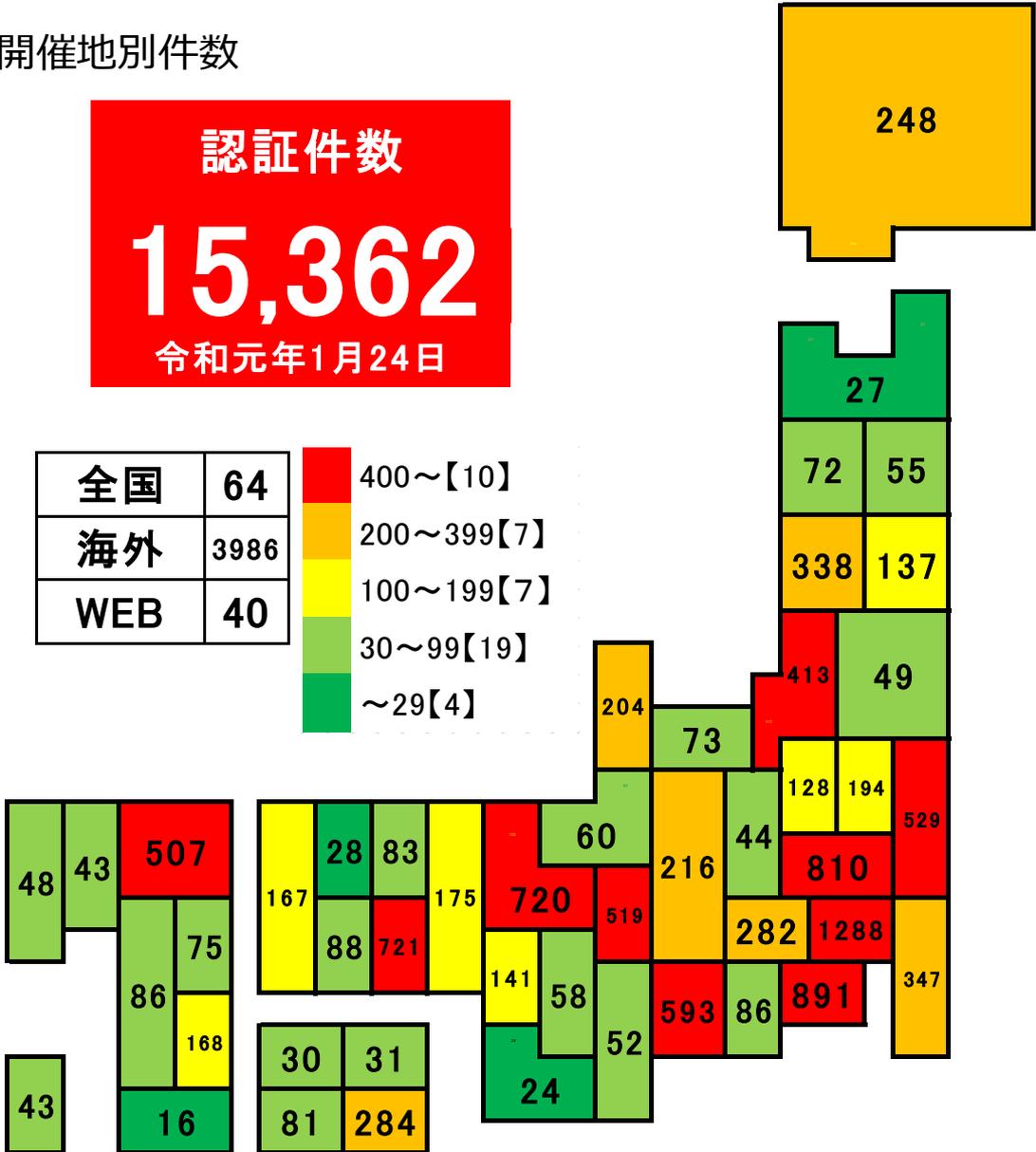
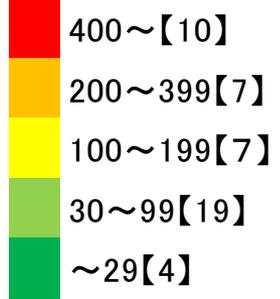
認証件数 15,362件
認証組織 69組織
2020/1/24時点

beyond2020プログラムの全国への展開

● 開催地別件数

認証件数
15,362
令和元年1月24日

| | |
|-----|------|
| 全国 | 64 |
| 海外 | 3986 |
| WEB | 40 |



● 団体別認証件数

| 団体区分別 | 認証件数 |
|-----------------|-------|
| 国の機関 | 4,251 |
| 地方公共団体 | 2,726 |
| 公益法人等 | 3,192 |
| 株式会社等 | 682 |
| その他 (実行委員会等) | 4,511 |

● 分野別認証件数

| 分野別認証件数 | 認証件数 |
|--------------|-------|
| 伝統芸能・まつり | 1,995 |
| 現代アート・メディア芸術 | 352 |
| 食文化 | 410 |
| 障害者芸術 | 237 |
| 音楽 | 3,018 |
| 演劇 | 629 |
| 美術 | 1,249 |
| 工芸 | 275 |
| 映画・写真 | 907 |
| その他 | 6,290 |

beyond2020プログラム認証事業例

事業名 大相撲beyond2020場所

団体名 公益財団法人 日本相撲協会

認証要件 ■ 多様性 ■ 国際性

事業概要 土俵近くに手話スタッフの配置や車椅子利用者向けスペースを設けるなどして、様々な障害に配慮した大相撲を開催。



事業名 伝統の流鏝馬神事・笠懸神事

団体名 公益社団法人大日本弓馬会

認証要件 □ 多様性 ■ 国際性

事業概要 会場では、英語で解説などを行うとともに、流鏝馬の基礎的な情報を掲載した資料を日本語版と英語版で用意。また、流鏝馬終了後には出場した射手との交流会も行うことで、流鏝馬文化を広く国内外に発信。



beyond2020プログラム認証事業例

事業名 東北絆まつり2019福島

団体名 東北絆まつり実行委員会

認証要件 ■ 多様性 ■ 国際性

事業概要 東北6市を代表する祭りが福島市内に一堂に集結し、新たな東北のレガシーをつくりあげる。
チラシ、ガイドブック、案内サイン等を英語で作成するとともに、多言語対応可能なスタッフが常駐する案内所を設置。



事業名 JTBグループのユニバーサル・ツーリズム

団体名 株式会社JTB

認証要件 ■ 多様性 ■ 国際性

事業概要 ユニバーサルツーリズム旅行商品や心のバリアフリーをテーマとしたシンポジウム等を通じて、文化史跡や地域の食文化、温泉や宿のおもてなし等いった魅力ある日本文化を発信。ホームページは英語にも対応。



JTBグループのユニバーサルツーリズム商品のご紹介

JTBグループは、「年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、お客様が安心してご利用いただける旅行会社」を目指して、「ユニバーサルツーリズム」を推進します。

JTBグループのユニバーサルツーリズムとは？
詳しくはこちら

ご高齢のお客様
小さなお子様連れのお客様
外国人のお客様
遠所出張の必要なお客様

JTBグループのユニバーサルツーリズム商品

|| ご高齢のお客様向け

JTBの「ユニバーサルツーリズム」の取組みが政府の「beyond2020プログラム」として認証されました。「beyond2020プログラム」は、多様性や国際性に配慮された文化活動・事業を政府が認証し、日本文化の魅力が国内外に発信する取組みです。JTBは「ユニバーサルツーリズム」の取組みを通じて、すべての人に日本文化の魅力を発信していきます。

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査に係る試行プロジェクト

◆目的

大会の機運醸成に向けて、多言語対応・バリアフリー対応等を含み、公共空間等を活用した文化イベントを試行プロジェクトとして実施することにより、その効果と課題を分析。

◆2019年度実施案件（4件）

■屋外（街なか）を会場とし、誰もが参加できるオープンなプロジェクト

- ①天王洲・チャンネルアートモーメント2019（一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会）

天王洲運河の水域を占用し、水面上での文化発信にチャレンジするプロジェクト。

- ②ENJOY TOKYO Fes. -beyond2020-（株式会社レッツエンジョイ東京）

池袋グリーン大通り等の屋外スペースにおいて、学生が学園祭の魅力を発信するプロジェクト。

- ③アートプロジェクト「北斎コネクト：隅田川を超えて」（凸版印刷株式会社）

墨田区内の公共空間等において、北斎をテーマに地元の方が参画して楽しむプロジェクト。

■地域の文化コンテンツを活用し、地方への誘客が期待されるプロジェクト

- ④東北ハウス・プレイメント2019（東北経済連合会）

ラグビーW杯にあわせ、東京駅近傍で、東北の地元芸能の実演、伝統工芸の製作体験等を実施。

（参考）これまでの採択実績

2016年度：32件、2017年度：21件、2018年度：10件、2019年度：4件 ⇒ 累計67件

beyond2020プログラム及び試行プロジェクトの成果について

2016年度から開始したbeyond2020プログラムや試行プロジェクトにより、日本全国において国際化や多様性に配慮した文化プログラムが浸透し、東京大会の機運醸成に寄与。

【主な成果】

- ・日本全国及び海外に文化プログラムを展開
- ・スポンサー企業を含む幅広い団体が文化プログラムを実施
- ・多言語対応、バリアフリー対応により、障害者や外国人を含め、誰もが文化プログラムを楽しむ機会を創出
- ・伝統文化からメディア芸術、商品・サービスまで幅広い日本文化を発信
- ・文化プログラムを起点に、ホストタウンやマイベストプログラムなど様々な分野で展開し、大会の機運醸成とレガシー創出を推進
- ・試行プロジェクトを通じて、公共空間を活用した文化発信を促進



東京商工会議所は「おもてなし」の心を持って地域の魅力ある文化を発信するプロジェクトを実施。



マイベストプログラム



ホストタウン

⇒ 引き続き、beyond2020プログラムや試行プロジェクトで得たノウハウを様々な文化プログラムで活用しつつ、大会の機運醸成とレガシー創出を目指し、全国に展開。